

## 放置竹林を光のアートへ変える「画板灯籠」制作

～地元・小石地区の竹を、小石小学校の児童が魂を込めて削り出す～

くきのうみ花火の祭典実行委員会（事務局：若松区役所）が進めてまいりました、地元の放置竹林をアートに再生する『画板灯籠』プロジェクト。

今年度、若松区内小学校10校・約600名の児童が参加したこの壮大なワークショップが、7月7日（火）の小石小学校にていよいよ最終回を迎えます。

本プロジェクトの締めくくりを飾る小石小学校では、同校の地元・小石地区での放置竹林から伐採された竹を材料に、特別な想いを込めた制作が行われます。

自分たちの住む地域に眠る資源を、自分たちの手で「街を照らす宝物」へと変える感動の瞬間をぜひご取材ください。

### 【ワークショップの概要】

- ◆ 開催日時 令和8年7月7日（火）9：45～11：35
- ◆ 開催場所 北九州市立小石小学校（若松区小石本村町1-1）1階多目的ルーム
- ◆ 参加者 小石小学校 6年生18名
- ◆ 内容 画板灯籠プロジェクトの解説（竹林の現状と未来への可能性）  
灯籠デザイン制作（若松のシンボルやキャラクターを竹板に描画）  
加工体験（電動ドリルによる穴あけの仕上げ作業）  
記念撮影

### 【画板灯籠の展示】

児童が作り上げた灯籠は、若松の秋から冬を彩る光のシンボルとして展示されます。

期間：令和8年10月9日（金）～令和9年1月11日（月・祝）

場所：若松区久岐の浜7-1（マリンコア横・花火打上会場周辺）

※「くきのうみ花火の祭典」および「若松イルミネーション」の会場を幻想的に彩ります。

### 【本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み】

くきのうみ花火の祭典実行委員会事務局（若松区役所 総務企画課内）

担当：藤江・浜崎

電話：093-771-3559